

茶被覆棚の積雪対策及び 降雪後の茶園管理について

雪シーズンに備え、被覆棚に被害が出ないように、準備をしておきましょう。
また、降雪後は適切な対応をし、一番茶への影響を少なくしましょう。

<降雪に対する準備>

- ①被覆資材を取り外しましょう。
- ②被覆資材を取り外さない場合は、被覆資材を水平ポールにひもで2～3ヶ所縛り、資材の上にあまり雪が積もらないようにしましょう。
また、時々点検し、たるまないように縛り付け直しましょう。
- ③被覆資材上の除雪は、アンカーの打ち込みが浅いと思う茶園から積雪中から落雪させましょう。
(ただし、倒壊しそうになったら速やかに逃げてください。)
- ④被覆棚付近に倒れ込みそうな竹林があれば、予め伐採しましょう。

<降雪後の対策>

- ①暗渠の点検
暗渠がある茶園は融雪を促進するため、暗渠の排水口を点検し、排水を妨げている土砂や草などを除去しましょう。
- ②茶樹上の雪はしばらく放置
無理に落とさず自然に融けるのを待ちます。
- ③除雪箇所の優先順位
畝間の雪面が下がると被害株がわかるので、被害株の周辺を優先して除雪します。また、融雪で茶樹上の積雪が滑り落ちるときに、その沈降力で枝折れや株割れが発生するので、その兆候が見られる茶樹上の雪から除雪します。
- ④被害枝等の除去
春整枝（化粧均し）までに、枝の折れた部分から下を切断します。
樹形のゆがみや株割れした部分を丁寧に元に戻します。
- ⑤春肥
融雪後は、一番茶の収量や品質を維持するため、通常どおりの春肥を施肥します。

1月下旬～2月上旬（融雪後）油粕

200kg/10a